

令和2年6月30日
住宅局住宅生産課

住宅性能評価書（設計）を交付した住宅の割合が過去最高に！ ～令和元年度の住宅性能表示制度の実施状況について～

令和元年度における住宅性能表示制度の実績がとりまとまりましたので、お知らせいたします。

【ポイント】

- ・新設住宅着工戸数に対する設計住宅性能評価書の交付割合は、27.7%で過去最高となり、4年連続の増加。

1. 住宅性能表示制度の概要

住宅の性能について、国が定める共通のルールに基づき、登録住宅性能評価機関が評価・表示をする制度です。

住宅性能評価書には、①設計図書の段階の評価結果をまとめた「設計住宅性能評価書」と②施工段階と完成段階の検査を経た評価結果をまとめた「建設住宅性能評価書」があります。

〔新築住宅（設計住宅性能評価書、建設住宅性能評価書）については、平成12年10月より運用開始
既存住宅（建設住宅性能評価書）については、平成14年12月より運用開始〕

2. 令和元年度実績

<評価書交付割合>

【設計】：27.7%

（新設住宅着工戸数：883,687戸）

<評価書交付実績>

【設計】：245,156戸

（対前年比：1.6%減）

【建設（新築）】：199,275戸

（対前年比：5.3%増）

【建設（既存）】：400戸

（対前年比：28.2%増）



（参考）制度実施以降の実施状況については、以下URLよりご参照ください。

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページ

<https://www.hyoukakyukai.or.jp/>

<問い合わせ先>

国土交通省住宅局住宅生産課 宮崎、宇佐野

電話（代表）03-5253-8111（内線39-456, 39-433）

（FAX）03-5253-1629